

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

にじいろ保育園釜利谷

横浜市金沢区釜利谷東 2-15-8

運営主体: ライクアカデミー株式会社

● 実施概要	1 ページ
● 総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
● 評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
● 分類・項目別評価結果	6～23 ページ
● 利用者家族アンケート分析・集計結果	24～31 ページ
● 利用者本人調査分析	32～34 ページ
● 事業者コメント	35 ページ

公表日：2018年3月20日

実施機関：特定非営利活動法人市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	にじいろ保育園釜利谷（保育所）		
報告書提出日	2018年1月19日	評価に要した期間	7ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

■評価方法

1、自己評価 実施期間 2017年5月11日～9月19日	① 全職員が自己評価表の全ての項目において自己の評価を行い記入した。 ② 各個人が記入したものをもとにグループ分けし、それぞれ意見交換しながら一つにまとめた。 ③ 各グループでまとめたものを園長・主任で一つにまとめ、全職員で確認した。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2017年8月3日～8月17日	① 全園児の保護者（63世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 ② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日:第1日 2017年10月17日 第2日 2017年10月19日	[第1日] ① 午前：各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：書類調査。園長、主任に面接調査。 [第2日] ① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 ② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 ③ 午後：各クラス担任保育士6名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、園長、主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日:第1日 2017年10月17日 第2日 2017年10月19日	① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれ実施し活動を観察した。 ② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

にじいろ保育園釜利谷は、京浜急行、金沢文庫駅西口から歩いて5分ほどの商業地域の中に有ります。近くにはバスターミナル、大型商業施設、飲食店などがあり、園舎前は人通りの多い場所となっています。園舎は鉄骨3階建てで、1階に幼児クラス、2階に乳児クラス3階に厨房が配置されています。幼児クラスには仕切りがなく、必要な時にはいつでも異年齢保育ができるようになっています。園舎は元パチンコ店を改装して作られており、使い勝手のよくない点がありますが、保育士のアイデアと連携で対処しています。

定員は81人（57日～5歳児）、開園時間は、平日（月～金）は7時～20時、土曜日は7時～18時です。

保育理念は「のびやかに育て だいちの芽」、保育方針は「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛（信頼・安定・共感）」、保育目標は、「自然を愛し、心身ともに健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。

にじいろ保育園釜利谷は、2009年（平成21年）4月にライクアカデミー株式会社によって開設されました。運営法人は、保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・事業所・大学内の保育委託サービス、保育施設運営のコンサルティングサービス等を、首都圏を中心に幅広く展開しています。

◆ 高く評価できる点

1、子どもたちはお互いに思いやりを持って、楽しく園生活を送っています。

幼児クラスでは縦割り保育を行っていますので、日常保育の中でも異年齢児で関わる時間が多くなっています。幼児クラスの自由時間には、子どもたちは、いくつかの集団に分かれ、それぞれ好きなことをしています。隣の遊びに移ったり、他の遊びに誘われて移ったりと幼児クラスでは子どもたちが活発におしゃべりをしながら遊んでいます。「ねえねえ、ここどうすればいい？」と隣でパズルをしている子どもが助けを求める子どもに「うーん、」とパズルを止めてブロック積みと一緒に考え出す子どもがいたり、「いらっしゃいませ～」の呼びかけに応じて、ままごと遊びに参加する子どもがいたり、子どもたちは一つの遊びに拘らず、色々な遊びに加わっていきます。子ども同士の会話が様々に取り交わされ、次々と遊びのアイデアが浮かんでいます。子ども同士がお互いを認め合う良い機会となっています。保育士は、時々会話に参加しながら、子どもたちがお互いの考えや気持ちを伝えることができるよう、優しく見守っています。また、3歳児から5歳児まで仕切りのない一つの部屋を使っている事もあり、年上の子どもたちが3歳児の面倒を見る姿が随所に見られます。3歳児の憧れの年上の子どもたちが遊んでいる場所に近づき、遊びの邪魔をしても、邪険にすることなく3歳児が通り過ぎるのを待ったり、年齢の差から、3歳児には難しそうなことも「そっとやるんだよ」と手を添えてみたりしています。3歳児同士のけんかから泣き続けている子どもに対しても、5歳児がそっと近づいて色々話しかけ、慰めたり他の遊びに誘ったりしています。幼児クラスだけでなく年上の子どもたちが年下の子どもの面倒を見たり、年下の子どもが年上の子どもに憧れを持てる関係ができています。

このように、子どもたちは保育士が見守る中、お互いに思いやりを持って楽しく元気いっぱい園生活を楽しんでいます。

2、保育士間の連携を密にして子ども中心の保育の実践を目指しています。

乳児クラスと幼児クラスは別の階になっているため、保育士は連携を図るために内線電話を使用し常に子どものための職員配置を整えています。また、職員会議、カリキュラム会議などを通して、一人一人の子どもの様子について、保育環境についての情報共有するとともに、子どものためにどのような対応が良いか、子どもの安全を図るにはどうしたら良いか、保護者との関わりはどうしたら良いかなどを真摯に話し合っています。その上で自分たちの保育が方針に沿っているかを振り返っています。非常勤職員を含むすべての職員の信頼関係も構築されており、お互いの気づきを提案しあい、分からないことは、園長、主任を含め、誰にでも気軽に聞くことができる雰囲気があります。子どもや保護者との関わり方、困ったこと、子ども同士の関係を円滑に進めるにはどうしたら良いか、など、すぐに相談し合うことができています。このように、保育士は、お互いに連携し、助け合いながら保育を行い、子ども中心の保育の実践を目指しています。このような保育士の姿を毎日見ている子どもたちは、子ども同士でお互いを大切にしたり、自主的な行動が起こせるようになっていきます。

3、次世代の保育士の育成をめざし、研修に力を入れています。

運営法人で行われる階層別研修に加え、にじいろ保育園釜利谷が次年度目指す保育のためのスキルを身につけることができる職員育成計画を立てています。運営法人の研修として次世代のリーダー育成に副主任、ステップアップを図る研修に専門職リーダーが参加しています。にじいろ保育園釜利谷として障がい児への理解を深める研修や「横浜リズム」の研修には毎年職員が参加し、園としての継続的なスキルの蓄積を図っています。また、職員が希望する外部研修なども、職員が参加できるようシフトの調整を行い、積極的に支援しています。

非常勤職員も本人の希望で内部研修、外部研修に参加できるようになっています。心肺蘇生法、AED 講習、園内研修(今年度は乳児クラス「手作りおもちゃ」幼児クラス「リズム」)など園内で行われる講習は全員参加となっており、園全体のスキルアップに繋げています。

このように、職員が様々な研修や、継続的な研修に参加できる体制を作ることで、園は次世代の保育士の育成につながるよう力を入れています。

◆ 改善や工夫が望まれる点

1、外部からの侵入者に対する対応のさらなる改善が望めます。

園は警備会社と契約を行い、不審者緊急通報の取り決めを行ったり、電子錠で施錠を行いインターホンで確認の上開錠を行っています。また、不審者対応訓練を年3回行ったり、年度初めには園長が不審者対応も兼ね玄関で子どもと保護者を迎えたりしています。玄関は施錠されているものの、送迎の多い時間帯には誰もいない状態で玄関が開いている時がある事、事務所と玄関の距離があり、実際の確認が難しい事、人通りの多い道路に面している事などから不審者対応としては、まだ不十分な部分があるように見受けられます。早急に運営法人と検討し、子どもの安全を最優先とした、さらなる改善が望めます。

1、人権の尊重

- ・保育理念は、「のびやかに育て だいちの芽」、保育方針は「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛（信頼・安定・共感）」〈保育園像〉「陽だまりのような保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもと共に輝いていける保育園」、保育目標は、「自然を愛し、心身共に健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。保育理念、保育方針、保育目標は、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・運営法人策定の保育ガイドには人権についての項目があり、保育のねらいにも子どもの人権の尊重を明記しています。子どもを一人の人格として捉え、子どもの思いを尊重するようにしています。保育士は大きな声ではなく子どもに伝わるような声の大きさを心掛けています。子どもに注意をしたり話しをするときには、子どもと保育士が二人きりになれる場所でゆっくり落ち着いて対応するようにしています。
- ・「男女共同参画」については明文化されており、職員に周知させています。性別に関係なく、子どもの好きな遊びができるように、子どもの意思を尊重し遊びを見守っています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・保育士は、子どもの表情や身振り、手振り、反応などを観察し、子どもの意思をくみ取っています。言語化できる子どもには、子どもの意見を聞いています。子ども一人一人の発言に必ず応じ、子どもの意思を引き出すような問いかけをしたり、話し合いの時間を設けたりして、子どもが自分の気持ちや意見を表現しやすいようにしています。把握された子どもの意見や意思を指導計画の見直しに反映しています。子どもの午睡時に行われるクラス会議で0・1・2歳児の個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別に課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。担当保育士は、幼児一人一人の発達や課題に合わせて見直しを行ったり、週案会議にかけたり、保護者に相談したりしています。個別の目標・計画は毎日のクラス会議で子どもの状況について話し合い、子どもの状況に変化があった場合には、その都度話し合い変更・見直しています。
- ・幼児クラスは子どもたちが散歩の行き先を決めたりしています。また、園では毎年テーマを決め、子どもたちが自由な発想を持ち、行事なども自分たちで計画したものを実行したり作り上げることができるように促しています。一斉活動で簡単なルールのある遊びなどを行い、楽しむにはルールを守ることも必要だということを感じられるようにしています。
- ・保育士は子どもが食べたくない物については、「おいしいよ」「たべてみる？」と食べてみたいと思えるような声掛けをしています。無理に食べるようには勧めてはいません。献立には旬の食材を取り入れています。クリスマスにはバイキング形式で食事を提供して、ポテトサラダのツリーも用意しています。月1回の給食会議で喫食状況を話し合い、量や形の変更をしたり、あまり人気のないメニューは調理法の変更をしています。0歳児クラスはクラス懇談会で離乳食試食会を行い、相談を受けたり、離乳食の作り方を説明しています。また、保護者の保育士体験の際には、子どもたちと一緒に給食を食べてもらっています。
- ・トイレトレーニングを始める時期は、月齢やクラスで決めるのではなく個別対応をしています。家庭とは連携を取り情報を共有して、家庭に無理のないようにトイレトレーニングを進めています。
- ・幼児クラスの多くの子どもが、保護者の保育士体験の様子を家庭で伝えていることから、保護者参加率が高く好評を得て、80%の保護者が参加しています。年3回のクラス懇談会は、保育参観も兼ねており、日常の保育を保護者にも一緒に体験してもらえそうな内容で行っています。また、保育士体験はいつでもできることを伝えています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・運営法人策定の保健衛生マニュアル、感染症マニュアル、衛生管理マニュアルがあり、マニュアルには対応の仕方が明記されています。運営法人策定の安全管理マニュアルがあります。災害時に必要な避難用具は、すぐに取り出せる場所に配置し、3階休憩室に備蓄品などを準備し、備蓄食料や水は定期的に栄養士

が確認し交換しています。毎月の避難訓練、年間計画による災害、津波を想定した引き渡し訓練（年1回）を実施し、その際には安心伝言板の書き込みの訓練も行なっています。また、津波訓練（年1回）を実施し、屋上待機を経験しています。

- ・事故対応マニュアルがあり、マニュアルに沿って対応しています。保育中に起きた事項は、アクシデントレポートに記入し掲示して全職員に報告しています。また、ヒヤリハットは毎月提出して、回覧できるようにしています。アクシデントレポートやヒヤリハットは、職員会議などで、その日のうちに伝達し、改善策を検討しています。
- ・不審者緊急通報として警備保障会社に通報できるようになっており、年3回、不審者対応訓練を実施しています。

4、地域との交流・連携

- ・園の囑託医・近隣の病院・金沢区こども家庭支援課などをリスト化して、掲示しています。また、行政や苦情解決システム関係の連絡先は保護者に配布し玄関にも掲示しています。横浜市南部児童相談所・金沢区子ども家庭支援課・横浜市南部地域療育センター・消防署・金沢警察署などの関連機関との連携を図る担当は園長としています。
- ・職員全員が地域住民に挨拶をしており、公園などで一緒になった地域の親子にも話しかけたり、一緒に遊んでいます。金沢文庫の歴史が残る称名寺にも散歩に行っています。また、金沢自然公園、海の公園へ行ったり、地域の農園でじゃがいも掘りやみかん狩りをしています。5歳児は日常的に近隣保育園と交流し、泥んこ遊びやドッジボールをしています。釜利谷東小学校とは、チューリップの球根植え・学校探検などで年2回程度の交流をしています。
- ・金沢中学校との交流は定例化しています。金沢中学校体育大会の招待を受け園長や子どもたちも参加しています。11月には職業体験を受け入れています。8月には高校のインターンシップを受け入れ、県立高校生がボランティアとして3日間来園しています。
- ・運営法人策定のボランティア受け入れマニュアルがあり、ボランティアの受け入れについては、園の方針や基本事項が明文化されています。年3回、園長経験者のボランティアによる絵本の読み聞かせや、地域ボランティアのヨーヨーパフォーマンスを行っています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・保育ガイドにも理念、方針など記載されています。また、新入社員研修、子どもの午睡中に行われるミーティングなどで繰り返し周知すると共に、毎月末に、「にじいろの自己評価（職員版）」を利用して、理念や日々行われている保育活動の確認を行っています。全職員に配付している「保育ガイド」及び職務規程に、職員が守るべき法・規範・倫理などが明文化されています。
- ・主任は毎日、保育の様子を見て回り、職員の業務状況を把握しています。個々の職員の勤務状況や希望等を考慮してシフトを作成し常にシフトを調整しています。主任は職員の様子を見守り、必要に応じて声をかけて相談にのり、職員が精神的、肉体的に良好な状態で保育に取り組めるよう配慮しています。また、職員と園長のパイプ役になるよう努めています。
- ・重要な意思決定について、職員には職員会議で、保護者には懇談会で目的、決定理由、経過などを説明しています。夕食提供など重要な意思決定にあたっては、園長は運営委員会（保護者代表、第三者委員、園長、運営法人スーパーバイザーで構成）懇談会で説明及び意見交換を行っています。

6、職員の資質向上の促進

- ・運営法人策定の実習生受け入れのマニュアルがあり、園の方針や基本事項などが明文化されています。実習生の受け入れは掲示で保護者に知らせ、保育士育成に理解を求めています。
- ・園内独自の人材育成として、在園児の状況に合わせて個々の職員の研修計画を策定しています。園が目指す保育園像を体現する為、横浜の「リズム」夜間研修に年間を通して3名の職員が参加しています。研修担当は主任ですが、園長と相談しながら、個々の職員のニーズや希望を配慮すると共に園児の状況に合わせて研修計画を作成しています。毎月1回、開催されるパート会議には、主任が参加し情報共有を図るとともに、非常勤職員の意見を吸い上げています。

分類別評価結果


※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。

※  ← 「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。



3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念は、「のびやかに育て だいちの芽」、保育方針は「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛（信頼・安定・共感）」〈保育園像〉「陽だまりのような保育園」「地域と共に育つ保育園」「子どもと共に輝いていける保育園」、保育目標は、「自然を愛し、心身共に健やかな子ども」「自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども」「『仲間』と関わり、人を思いやれる子ども」「自己を表現できる子ども」です。保育理念、保育方針、保育目標は、利用者本人を尊重したものとなっています。玄関、保育室、事務室、休憩室に保育理念、保育方針、保育目標を掲示するとともに、全職員に配布されている保育ガイドにも理念、方針など記載されています。また、新入社員研修、子どもの午睡中に行われるミーティングなどでも繰り返し周知すると共に、毎月末には、「にじいろの自己評価(職員版)」を利用して、理念や日々行われている保育活動の確認を行っています。 ・ 保育課程は、子どもの最善の利益を第一義にしています。保育課程には、保育理念、保育目標が明記され、地域の実態や周囲の環境、地域支援、保護者の実態を考慮し作成しています。保育課程作成の責任者は園長、主任となっていますが、年度末に保育士がクラスで話し合ったものを乳児会議や幼児会議ではかり、職員会議において保育士全員で確認した後、保育課程を作成しています。 ・ 保育士は、子どもの表情や身振り、手振り、反応などを観察し、子どもの意思をくみ取っています。言語化できる子どもには、子どもの意見を聞いています。子ども一人一人の発言に必ず応じ、子どもの意思を引き出すような問いかけをしたり、話し合いの時間を設けたりして、子どもが自分の気持ちや意見を表現しやすいようにしています。把握された子どもの意見や意思を指導計画の

	<p>見直しに反映しています。今年度のテーマは「宇宙」です。宇宙人に運動会の招待状を出したり、宇宙人にパンツ型の手紙をあげようなど5歳児クラスの子どもたちから楽しい発案がありました。子どもたちの発案は計画の中に組み入れています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  <p>(1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。 (2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。 (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の入園説明会では、園長が全体説明を行った後、園長、主任、栄養士、看護師、次期担任、乳・幼児リーダーが参加して、保護者に個人面接を実施しています。面接時には遊びのコーナーを作り、子どもの様子を観察しています。観察内容は、他の職員と共有しています。また、入園前に郵送した、児童調査票、児童健康調査票、食品調査票、アレルギー調査票などの書類に保護者に記入してもらい、生育歴や家庭での状況を把握しています。特に0歳児については、ミルクの種類、間隔、入眠の仕方、離乳食など細かい状況を記入してもらい、保育に活かせるようにしています。 ・入園説明会、個人面談で慣らし保育（短縮保育）について、保護者に説明しています。慣らし保育は、1週間くらいを基本としていますが、保護者の状況によってはゆったりめの2週間を提示したりしています。また、保護者の勤務状況など個々の事情に合わせて、保護者と相談しながら柔軟に対応しています。 ・子どもの発達や状況に応じて年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画の作成・評価・見直しています。指導計画はクラス会議で話し合い、作成しています。リーダー会議、カリキュラム会議、職員会議など、複数の職員が参画すると共に、必要に応じて、臨床心理士の意見も取り入れ、評価、改訂の見直しを確認しています。最終的には園長、主任が確認しています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p>  <p>(1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。 (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。 (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃マニュアル、清掃チェック表、清掃担当表に基づいて1日1回清掃がなされていて、清潔に保たれています。保育室には温・湿度計を設置し空気清浄機、加湿器、換気扇、エアコン等で室内の管理を行っています。温度管理については看護師が判断をしています。 ・保育士は、穏やかに子どもに話しかけていて、保育士の声が騒音になったり、音楽が騒音になることはありません。幼児クラスはワンフロアで音がこもりやすい構造ですが、建物の扉が閉めてある事でもあり、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。 ・0歳児保育室には、沐浴設備、トイレに温水シャワーの設備があります。沐浴設備・温水シャワーの設備は清掃マニュアルに沿って清掃が行き届き、清潔に保たれています。 ・0歳児保育室は、仕切りやクッションなどを用い、小集団保育が行われるようになっていきます。また部屋の中央に棚を並べているため、オープンスペース的小部屋ができています。活動内容に合

	<p>わせてテーブルや仕切り、マット等を用い小集団で活動できるように工夫しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常保育の場として3歳児から5歳児が同一の部屋で生活をしています。部屋は見通しの良いワンフロアとなっていて、年齢ごとにテーブルが並んでいます、日常的に異年齢で交流しています。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>  <p>(1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの午睡時に行われるクラス会議で0・1・2歳児の個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別に課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。担当保育士は、幼児一人一人の発達や課題に合わせて、見直しを行ったり、週案会議にかけたり、保護者に相談したりしています。個別の目標・計画は毎日のクラス会議で子どもの状況について話し合い、子どもの状況に変化があった場合には、その都度話し合い変更・見直しています。トイレトレーニング、離乳食の進め方、箸の導入、午前睡の有無、ミルクの量などについては、保護者と話し合い、同意を得たうえで、指導計画を作成しています。 ・保育所児童保育要録を作成し小学校に送付しています。小学校就学前には進学先の教諭と申し送りの時間を取り、担当保育士から子どもの様子を口頭で伝えています。 ・入園時には、児童調査票に子どもや家庭の個別の状況や要望を保護者に記載してもらっています。入園後の子どもの発達の状況は、保育経過記録に記録しています。0歳児は毎月、1歳児以上は毎月に、個別記録に記載しています。児童票、保育経過記録、個別指導計画(発達の気になる子を含む)育児相談記録、個人面談記録などの子どもの記録は一人ずつファイルしています。ファイルは、鍵のかかる棚に保管されていて、職員は必要時には確認することが出来ます。また、月初めに行われる職員会議、月末に行われるカリキュラム会議などを通して子どもの様子を職員は共有しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  <p>(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2)障害児保育のための環境整備、保育内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。 ・個別のケースについてクラスで提示し週案会議、カリキュラム会議で話し合っていて、記録があります。ケース記録はファイルし、事務室の鍵のかかる棚に置かれていて、必要時にはいつでも確認することが出来ます。子どもの記録は外への持ち出し禁止となっています。職員は、障がい児研修、要支援研修、南部領域センター実地研修などに参加し、研修の内容を報告書を作成すると共に研修で得た最新の情報を職員会議で報告しています。職員会議に参加できなかった職員は、会議記録に閲覧署名を行いすべての職

容の配慮を行っているか。

(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。

(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

員で情報の共有を行っています。

- ・園の正面玄関は階段となっており、車いすの利用は難しくなっていますが、園の裏口には昇降機があり、車いすの出入りができるようになっています。園内はエレベーター、車いす用トイレも完備しています。車椅子を利用する子どもの受け入れも可能となっています。
- ・障がい児には担当の保育士が支援しています。障がい児の気持ちをほかの子どもに伝えて仲立ちするなど、支援しています。また、保護者から提供された、障がいの内容が簡単に理解できる絵本を子どもたちに読み、子どもたちが障がいを理解する手助けを行っています。子どもたちは、障がいを一つの特性として受け入れ、クラスの仲間として自然に関わっています。
- ・虐待についてのマニュアルがあり、虐待の定義や見分け方などを全職員に周知しています。マニュアルに従い、体の様子や食事の仕方などを入念に観察しています。虐待が明白になった場合、疑わしい場合や見守りが必要な場合は、金沢区こども家庭支援課、南部児童相談所、などの関係機関と常に情報交換し、週案会議、カリキュラム会議で話し合い、職員間の情報共有を行っています。園長、主任は保護者の様子を見守り、必要に応じて声をかけて保護者の気持ちを受け止め支援しています。ネグレクト・虐待が疑われる場合には、全職員で情報を共有し、連携して見守る体制を作り、きめ細かい対応が即座に取れるよう配慮しています。
- ・主治医が記入した「アレルギー疾患生活管理指導演」を保護者に提出してもらい、それに基づき園長、主任、クラス担任、栄養士で除去食対応シートを作成し、保護者の同意を得て除去食を提供しています。また、誤食対応訓練を実施し、職員があわてなくて済むようにしています。職員会議で、アレルギー児のアレルギーについての情報共有を図っています。
- ・栄養士は毎月、除去する食材にマーカーで印をつけた献立表を保護者に手渡しし、確認印をもらい、除去食の提供をしています。半年から1年に1回、アレルギー検査後に保護者と面談し、意向を確認しています。
- ・文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重し、柔軟な対応に努めています。国旗のカルタ、運動会用の万国旗を用い、様々な国があることを子どもたちに知らせています。意思疎通が困難な保護者に対しては、簡単な英語を用いたりして意思疎通を図るようにはしていますが、これまでは母親が通訳することで意思疎通が図れています。


I - 6 苦情解決体制



- (1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・苦情受付担当者は主任、苦情解決責任者は園長で、重要事項説明書に記載するとともに、玄関に掲示し保護者に周知しています。入園説明会や懇談会でも保護者に伝えていきます。玄関に意見箱「すまいる BOX」を置いて、保護者の意見や要望など自由に入れることができるようにしています。運動会、にじいろ祭りなどの行事終了後にはアンケートを取っています。アンケートの結果から、にじいろ祭りを二部制にしました。
- ・登降園時には、保育士は保護者とコミュニケーションを取り、日常会話の中から保護者の意見や要望の把握に努めています。また、口頭で話すことが苦手な保護者には連絡帳を活用し苦情や悩みがくみ取れるよう努めています。
- ・苦情解決マニュアルがあります。玄関に「苦情解決の流れ」を掲示し保護者に周知しています。
- ・第三者委員を交えて対応する仕組みがあります。第三者委員は、近隣の主任児童委員にお願いしており、運営委員会は行事などに参加し保護者の意見や要望を把握するよう努めています。
- ・保護者からの要望や苦情は、園長、主任、リーダーで共有し、職員会議やミーティングで職員に周知し、迅速な対応を心がけています。連絡帳での要望、質問に関しては担任、主任、園長等を交えて回答を考え、全職員に周知しています。要望や苦情は、記録しデータとして活かされています。保護者の声を受けてにじいろ祭りを二部制にしたり、エントランスに置かれているカートをたんで収納した事例があります。

評価領域 II サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>II - 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスのおもちゃは、年齢、発達に合わせたものを用意し、室内遊具や絵本などは分類し、子どもが使いやすく自由に取り出せるようにしています。カラーマットやパーテーション、おもちゃ棚などを利用して、必要に応じてコーナーを作り、落ち着いて遊べる環境で子どもが自分で好きな遊びを選択できるようにしています。 ・幼児クラスは子どもたちが散歩の行き先を決めたりしています。また、園では毎年テーマを決め、子どもたちが自由な発想を持ち、行事なども自分たちで計画したものを実行したり、作り上げることができるように促しています。 ・自由遊びの時間が多く取っており、子どもたちはそれぞれの興味に合わせて楽しく遊んでいます。

が取り入れられているか。

(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

- ・一斉活動で簡単なルールのある遊びなどを行い、楽しむにはルールを守ることも必要だということを感じられるようにしています。また、公共の乗り物を利用したり、買い物に行ったりすることで、社会のルールを覚えられる機会を設けています。
- ・立地条件や施設環境から、プランターで花や野菜を栽培したり、生き物を飼育することが難しい面がありますが、5歳児は卒園に向けて、植木鉢でチューリップの栽培を行っています。また、幼児クラスでは、散歩で見つけたバッタなどを飼育しています。
- ・乳児クラスでは、散歩のときに自然や季節の変化を感じられるようにしています。また、幼児クラスでは地域の農園にじゃがいも掘り、みかん狩りへ行ったり、近隣の公園への散歩を積極的に取り入れ、自然の大切さを伝えられるようにしています。
- ・園全体で「表現」には特に力を入れており、子どもたち一人一人の表現力をのばしていけるように、年齢に合わせたリズム遊びや造形活動などを行い、言葉ではない表現をする楽しさが経験できるようにしています。幼児クラスではいつでも自由に絵が描けるように自由画帳を個人持ちにしています。また、空いた時間には、子どもたちが覚えた歌を歌ったり、自由に絵を描いたりしています。
- ・子ども同士のけんかなどでは、子どもたちだけで関わっているときには、保育士は近くで見守るようにしています。子ども同士で解決できないようなけんかには、保育士が間に入り解決の糸口を導くようにしています。
- ・乳児は愛着関係が築けるように1対1の関わりを大切にしています。幼児クラスは3~5歳児の縦割り保育を行っています。2歳児クラスでは散歩やリズム遊び、クッキングなどを幼児クラスと合同で行うことで、良い刺激を受けて異年齢交流を深めるきっかけとなっています。
- ・園には園庭がないため、全クラスとも積極的に戸外へ出ています。子どもの発達に合わせた運動能力が高められるように、幼児クラスでは月2回体操教室を取り入れています。また、子どもたちの発達に合わせて散歩の距離を伸ばしたり、斜面を登るようなコースを選んで散歩に行くような工夫をしています。幼児クラスは水分補給と防災の観点から水筒を毎日持参してもらい、子どもが自分で自由に水分補給ができるようにしています。

Ⅱ - 1 保育内容[生活]



(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしている

- ・保育士は子どもが食べたくない物については、「おいしいよ」「たべてみる？」と食べてみたいと思えるような声掛けをしています。無理に食べるようには勧めてはいません。子どもが手づかみ食べなどをしていても叱ることなく、子どもの食べようとする意欲を大切にしています。

か。

(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。



(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ・0歳児の授乳は、子どもの様子を見ながら授乳時間を変更したりミルクの量を調節するなど、その時の子どもの欲求を大切に臨機応変に対応しています。離乳食は子どものペースに合わせて食べさせています。食育の年間計画を立て、年齢に合わせた食育活動を行っています。幼児クラスでは献立や色別栄養の掲示をし、食に対する意識を高めるようにしています。2歳児からクッキング活動を行い、5歳児では子ども用包丁やIHコンロを使用しています。また、卒園クッキングとしてカレーを作っています。
- ・献立には、旬の食材を取り入れ、デザートも日によって変えています。クリスマスにはバイキング形式で食事を提供して、ポテトサラダのツリーも用意しています。
- ・乳児クラスは保育士の担当制を取り入れ、食事の介助を行っています。幼児クラスはグループで食べたり、好きな席で食べたりと子どもたちの様子に合わせて決めています。
- ・食器は、落としたり割ってしまうことを体験し、大切に扱えるように強化磁器を使用し、食材は国産の物を使用しています。スプーンやフォーク、食器の大きさは年齢によって変えています。箸は、子どもの様子を見ながら取り入れる時期を決めて、おおよそ3歳では導入できるようにしています。
- ・毎月、運営法人発行の献立表と園の栄養士発行の給食だよりを配布しています。献立は2サイクルで提供しています。栄養士は、毎日全クラスの子どもの喫食状況を見て回り、子どもたちに声を掛けています。月1回の給食会議で喫食状況を話し合い、量や形を変更したり、あまり人気のないメニューは調理法を変更しています。給食サンプルは玄関に掲示し、人気のあるメニューのレシピも自由に持ち帰れるように常時置いています。0歳児クラスはクラス懇談会で離乳食試食会を行い、栄養士も参加して相談を受けたり、離乳食の作り方を説明しています。また、保護者の保育士体験の際には、保護者に子どもたちと一緒に給食を食べてもらっています。
- ・午睡では子どもが安心して眠れるようにトントンしたり、情緒が不安定な子どもに対しては保育士が添い寝をしています。眠くない子どもには、午睡の時間が布団の上で静かに休息する時間であることを伝えて、早く目覚めてしまった子どもは、静かに遊ぶようにしています。乳児クラスでは睡眠チェックを行いSIDSの防止に努めています。また、SIDSのポスターを掲示し保護者へも注意喚起しています。5歳児は子どもの様子を見ながら午睡時間を徐々になくしていきます。
- ・トイレトレーニングを始める時期は、月齢やクラスで決めるのではなく個別対応をしています。施設構造上トイレの数が少ないた

	<p>め、乳児クラスでは時差をつけクラス毎にトイレへ行くようにしています。また、幼児クラスは活動の合間に順番にトイレに行くようにしています。家庭とは連携を取り情報を共有して、家庭に無理のないようにトイレトレーニングを進めています。</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 安全管理 [健康管理]</p>  <p>(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。 (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。 (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人策定の保健衛生マニュアルがあり、看護師は毎朝各クラスを巡回しています。また、看護師が園児健康管理票を作成し、全職員が周知できるよう事務所に掲示しています。 ・2歳児から子どもの状況を見て、歯磨きを開始しています。幼児クラスは子どもが歯磨きを行った後、保育士が仕上げ磨きを行っています。幼児クラスでは歯磨き指導を看護師と保育士で行い、手本を見せたり、子どもの支援をしたりしています。また、歯科健診では3、4歳児は歯科医からの歯磨き指導を受け、5歳児は歯科衛生士からの歯磨き指導と赤染め指導を受けています。 ・年2回の健康診断と年1回の歯科健診を実施し、個別健康カードに記録しています。また、看護師による身体測定の結果も記載しています。診断結果は書面にて保護者へ伝え、また必要に応じて受診を促しています。 ・運営法人策定の感染症マニュアルがあり、マニュアルには対応の仕方が明記されています。入園のしおりに感染症や出席停止・登園許可書などが記載されており、保護者に周知を図っています。園児や職員に感染症が発症した場合は、発症日に発症した感染症についての症状・潜伏期間・感染期間・流行する期間などを掲示して保護者に注意喚起しています。予防接種の接種率向上のため、看護師が作成した予防接種などについての書面を子どもの誕生月に配布し、保護者の記入後に提出してもらっています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理 安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人策定の衛生管理マニュアルがあり、年1回看護師を中心に衛生管理マニュアルを確認しています。また、嘔吐処理のマニュアルがあり、年に1回程度、感染症などの流行前に確認しています。マニュアルにもとづき、清潔を保つように清掃を行っています。保育室やトイレの清掃などは掃除チェックリストを用い清潔を保てるようにしています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

(6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・運営法人策定の安全管理マニュアルがあり、事故・災害の対応は全職員に周知されています。地震などを想定し、家具などは固定し、滑り止めなども使用して、安全対策をしています。災害時に必要な避難用具は、すぐに取り出せる場所に配置し、3階休憩室に備蓄品などを準備し、備蓄食料や水は定期的に栄養士が確認し交換しています。毎月の避難訓練、年間計画による災害、津波を想定した引き渡し訓練（年1回）を実施し、その際には安心伝言板の書き込みの訓練も行なっています。また、津波訓練（年1回）を実施し、屋上待機を経験しています。全職員が消防職員による救急法（心肺蘇生法・AEDの使用法）を受講し、AEDを事務所に設置しています。
- ・事故対応マニュアルがあり、事故やケガなどが起こったときにはマニュアルに沿って対応しています。職員や保護者との連絡体制が確立されており、近隣病院一覧表を作成し、電話の近くに掲示しています。職員は年2回アレルギー児誤食対応訓練をしています。また、プール前には、緊急時対応訓練を行っています。園全体と各クラスには安全点検表があり、職員が交代でチェックを行ない、月末には園長がチェック表の確認も行っています。事故、ケガが発生した時は、速やかに園長に報告し、必要に応じて看護師が手当てを行っています。保育時間のケガについては、必ず降園時に保護者にケガの箇所を見てもらいながら状況説明をしています。子どもがケガをした場合、保護者と運営法人に即時報告しています。保育中に起きた事項は、アクシデントレポートに記入し掲示して全職員に報告しています。また、ヒヤリハットは毎月各クラスで提出して、職員が回覧できるように事務所に置いています。アクシデントレポートやヒヤリハットは、職員会議などを利用して、その日のうちに情報を伝達し、改善策を検討しています。
- ・園の出入り口は電子錠で開錠し、インターホンを使用してモニターで来園者の確認をしています。年度初めには、不審者対応も兼ねて園長が入り口で子どもと保護者を迎えています。1階の窓にはストッパーをつけ、不審者が侵入できないように整備しています。また、玄関から子どもたちの姿が見えないように、保護シートを貼っています。不審者緊急通報として、事務所と各クラスには警備保障会社のボタンがあり、すぐに通報できるようになっています。また、年3回、不審者対応訓練を実施しています。玄関は施錠されているものの、事務所と玄関の距離もあり、送迎の多い時間帯には誰もいない状態で玄関が開いているときがあります。事務所と玄関の距離があり、実際の確認が難しい事、人通りの多い道路に面している事などから不審者対応としては、まだ不十分な部分があるように見受けられます。早急に運営法人と検討し、さらなる改善が望まれます。

Ⅱ－３ 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・運営法人策定の保育ガイドには、人権についての項目があり、保育のねらいにも子どもの人権の尊重を明記しています。子どもを一人の人格として捉え、子どもの思いを尊重するようにしています。日々の保育中にはトイレの個数などの環境面の理由から、子どもを急がせてしまうことがあるため、各会議などで言葉遣いについて話し合う機会を設けています。保育士は大きな声ではなく子どもに伝わるような声の大きさを心掛けています。
- ・子どもに注意をしたり話しをするときには、子どもと保育士が二人きりになれる場所でゆっくり落ち着いて対応するようにしています。身体測定などで裸になるときや着替えを行う際には、カーテンを閉めたり、外部から見えないような場所を利用しています。また、幼児トイレはドアつきの個室となっています。
- ・守秘義務についての規程があり、職員は入社時研修で学び、機密保持誓約書にサインをしています。個人情報の取り扱いについては、運営法人策定の保育ガイドにガイドラインがあり、職員は厳守しています。また、児童票などは事務所の鍵のかかる場所に保管しています。写真の使用などは、保護者から画像承諾書により使用許可を得ています。
- ・「男女共同参画」については明文化されており、職員に周知させています。性別に関係なく、子どもの好きな遊びができるように、子どもの意思を尊重し遊びを見守っています。職員会議などで親の役割などを無意識に子どもの前で話していないかの確認を行っています。また、行事前などには、園長から確認のために職員の対応方法ついて発信しています。日常保育でも、乳児クラスは主任が、幼児クラスは園長が見回りながら保育補助をして確認しています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

- ・3月の入園前説明会では重要事項説明書と入園のしおりに沿って、園長が理念をスクリーンで紹介し、わかりやすい説明になるよう工夫しています。園のパンフレットには、運営法人の理念や保育方針を明記しています。また、園の玄関、各クラスの目につきやすい場所には理念・保育方針・保育目標を掲示しています。行事のあとには、保護者アンケートを行い、保育方針が理解されているのかの把握に努めています。
- ・送迎時には、保護者と常にコミュニケーションをとることを大切にしておこなっています。日常の保育や行事の様子がわかるように写真にはコメントを添えて掲示し、送迎時に見ている保護者へは子どもの様子を伝えています。全クラスがその日の活動を記入した「今日の〇〇」を玄関に掲示しています。2歳児以下のクラスでは連絡帳を毎日記入し、幼児クラスでは必要に応じて罫線のためのノートを連絡帳として使用し、子どもの様子を伝えています。また、口頭でも

(6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

伝えるようにしています。幼児クラスでは H29 年度より、毎月園だよりを配布する際に、1 か月間の家庭での子どもの様子・園での様子が記入できる用紙と一緒に配布し、家庭と園で一人一人の子育てについて共有できるようにしています。担任保育士は保護者の記入後に用紙を連絡帳に貼付しています。個人面談は年間予定の中で期間を決めて、全クラス年 2 回実施しています。また、保護者の要望に応じた個人面談も随時受け入れ、運営法人の臨床心理士との面談も設定しています。


- ・クラス懇談会は年 3 回土曜日に実施し、連絡帳などでは伝えきれないクラス全体の様子や子どもたちの成長の様子を伝えています。
- ・保護者からの相談は、3 階休憩室などのプライバシーが守れる空間で相談に応じるようにしています。相談内容は、園長、主任に報告し、助言内容を確認する仕組みを整備しています。相談内容は、育児相談ファイルに綴じて継続的なフォローもしています。また、守秘義務を厳守して対応しています。
- ・園だより・クラスだより・給食だよりなどは毎月発行しています。また、子どもたちの様子、保育の様子、エピソードを記載した「今日の〇〇」を玄関掲示板に全クラスが毎日貼り出しています。年間行事予定表は年度初めに保護者へ配布し、行事にも参加しやすくしています。保育参加（保育士体験）は保護者の都合に合わせ、全クラスで随時受け入れる体制を取っています。子どもの誕生月に保育士体験申込書を配布し参加を呼びかけています。給食は試食を兼ねて子どもと一緒に食べて、終了後には感想も記入してもらっています。幼児クラスの多くの子どもが、保護者の保育士体験の様子を家庭で伝えていることから、保護者参加率が高く好評を得て、80%の保護者が参加しています。
- ・年 3 回のクラス懇談会は、保育参観も兼ねており、日常の保育を保護者にも一緒に体験してもらえるような内容で行っています。また、保育士体験はいつでもできることを伝えています。
- ・平成 28 年度は卒園児の保護者有志が「ありがとうの会」として、職員への感謝の会を開いています。その際には保護者の要望に応じて、保育室を提供しています。「ありがとうの会」には、保護者からの要請があり、職員が参加しています。保護者の自主的な活動がなく、場所などを使用したいという声があがっていません。園としては保護者の意向があれば協力する姿勢がありますが、保護者に対して、場所を提供できることなどを伝えていませので、保護者に伝えていくことが望まれます。保護者組織はないものの、保護者とは常にコミュニケーションをとるように努めています。



評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の赤井町内会に加盟し、地域の祭りに奉賛しています。散歩の際に地域住民に挨拶したり、地域住民から子どもの日の菖蒲や七夕飾り用の笹をもらうなど、日頃からコミュニケーションをとり、地域住民の園への要望を把握できるように努めています。園見学者や交流保育参加者の相談を受け、地域の子育てニーズの把握に努めています。公園に遊びに行った時にも、地域の未就園児親子からの相談を受けています。金沢区こども家庭支援課の担当者や保健師と連携をとり、子育て支援を必要としている家庭への支援内容を話し合っています。金沢区の幼保小研修会、金沢区園長会に参加し、地域の子どもの現状についての情報交換をしています。 ・主任や看護師、または中堅以上の職員が金沢区主催の「すこやか子育て」や釜利谷地域で開催される子育て支援の研修会に参加しています。研修内容から職員間で子育て支援の構築を行い、活動を進めています。地域の親子を対象に「親子ふれあい広場」を開催し、触れ合い遊びや感触遊び、ベビーマッサージを行い、手作りのカードに手形を押してプレゼントしています。また、乳児クラスでは、在園児と地域の親子が遊べる「遊ぼう会」も行っています。また、絵本の貸し出しや誕生会への参加なども行っています。絵本の貸し出しは、まだ実績がありません。また、近隣商業施設で、年2回出張保育を行い、手遊び、絵本の読み聞かせ、パネルシアターなどを行っています。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットに園情報を記載し、エントランスの掲示コーナーにも園情報のポスターを掲示しています。また、金沢区子育て情報誌キラキラMAPでは、育児相談を受け付けていることなどを知らせています。園の外掲示板にも育児相談や臨床心理士巡回相談の掲示をしています。育児相談は随時行うこととしています。施設開放、施設見学時に保護者からの相談を受けています。育児相談の掲示などは行っていますので、育児相談の受け入れ方として、日程を設定することや情報提供の方法を検討することが望まれます。金沢区こども家庭支援課での地域イベントの際には、会場に園の情報パネルを掲示して、園の情報提供に努めています。散歩に出かけた際には、保育士が保育園行事の小さなチラシを携行して、公園で知り合った地域住民に配布しています。 ・園の嘱託医・近隣の病院・金沢区こども家庭支援課などをリスト化して、掲示しています。また、行政や苦情解決システム関係の連絡先は保護者に配布し、玄関にも掲示しています。横浜市南部児童相

	<p>談所・金沢区こども家庭支援課・横浜市南部地域療育センター・消防署・金沢警察署などの関連機関との連携を図る担当は園長としています。金沢区幼保小連携事業は会議やイベントに参加している年長児担当職員が担当し、園長や校長だけの連携会議は園長が担当しています。園長は金沢区園長会研修の三師会（内科医、歯科医、薬剤師）の講演会などにも参加しています。園嘱託医とは日常的に連携がとれ、感染症などの情報提供や発育相談などができています。また、金沢区こども家庭支援課なども日常的に連携し情報共有しています。</p>
--	---


評価領域Ⅳ 開かれた運営



評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会・にじいろ祭り・運動会などには、地域住民を招待しています。また、地域住民である町内会長や園の第三者委員の主任児童委員などが参加しています。 ・年４回、４園交流として公立釜利谷保育園・金沢さくら保育園・にじいろ保育園金沢文庫と各園紹介・リレー・凧揚げ・ドッジボールなどの交流を行っています。 ・金沢区主催の「キラキラかなざわっコスポートフェスティバル」や「いきいきフェスタ」に保育士が委員として参加しています。また、園児は当日参加し他園との交流を図る機会としています。 ・釜利谷東小学校とは、チューリップの球根植え・学校探検などで年２回程度の交流をしています。園の運動会とお楽しみ会は近隣の小学校体育館を借りています。就学前には５歳児が、釜利谷東小学校と釜利谷小学校の学校見学に行っています。５歳児の就学先には、年長児担当保育士が作成した保育所児童保育要録を園長が小学校まで持参し連携をとっています。 ・金沢中学校との交流は定例化しています。金沢中学校体育大会の招待を受け園長や子どもたちも参加しています。１１月には職業体験として中学２年生を４、５名程受け入れています。８月には釜利谷高校とのインターンシップを受け入れ、２～４名程の県立高校生がボランティアとして３日間来園しています。 ・金沢区育児支援事業の取り組みである「あかちゃんの駅」に参加し、授乳やオムツ交換などをするための施設内開放を実施しています。地域の親子には絵本の貸し出しをしています。施設見学の際に伝えたり、ポスターなどで掲示していますが、まだ実績がありません。金沢区主催の「いきいきフェスタ」には、園のパラバルーンや大型

	<p>絵本を貸し出しています。毎年12月には金沢中学校吹奏楽部の生徒が来園し、園が場所を提供してクリスマスコンサートを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が地域住民に挨拶をしており、公園などで一緒になった地域の親子にも話しかけたり、一緒に遊んでいます。 ・金沢文庫の歴史が残る称名寺にも散歩に行っています。5歳児は午睡がなくなる時期から金沢図書館を利用しています。また、金沢自然公園、海の公園へ行ったり、地域の農園でじゃがいも掘りやみかん狩りをしています。5歳児は日常的に近隣保育園と交流し、泥んこ遊びやドッジボールをしています。また、プールも貸してもらっています。園ではエコキャップを集めており、幼児クラスは金沢中学校へエコキャップを届けに行っています。
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレット、運営法人のホームページやブログでは随時新しい情報を提供しています。金沢区の各種イベントの際には、各園の情報パネルを掲示し、パンフレットも配布しています。金沢区子育て情報「キラキラMAP」に保育園情報を提供し、掲載しています。金沢区役所にも「親子ふれあいひろば」のチラシなどを置いています。また、まみたん園ナビには園の情報を提供しています。見学者には園の方針・保育目標などを話して、利用料金などの情報を明記したパンフレットを渡しています。また、サービス内容・職員体制などを説明し、質問された事項には個人情報以外のことはすべて答えています。見学者には電話でも「親子ふれあいひろば」の案内をしています。 ・園や保育内容についての問い合わせに対しては、園長・主任が担当して対応をして、利用希望者には園見学ができることを伝えていきます。見学希望は電話にて予約を受け付け、できるだけ子どもたちの様子を見てもらえるようにしています。見学者には園長か主任が園内を案内し、園のパンフレットなどを見せながら、保育の基本方針や利用条件、サービス内容についても説明しています。
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営法人策定のボランティア受け入れマニュアルがあり、ボランティアの受け入れについては、園の方針や基本事項が明文化されています。年3回、園長経験者のボランティアによる絵本の読み聞かせや、地域ボランティアのヨーヨーパフォーマンスを行っています。毎年、11月には職業体験として中学2年生を4、5名、8月には釜利谷高校からのインターンシップ生として2~4名がボランティアとして3日間来園しています。ボランティアの受け入れ担当は主任としています。 ・運営法人策定の実習生受け入れのマニュアルがあり、園の方針や基本事項などが明文化されており、実習生の受け入れに際し事前の打

	<p>ち合わせて説明しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れは掲示で保護者に知らせ、保育士育成に理解を求めています。また、実習生受け入れについては、事前に子どもたちにも知らせています。実習生の受け入れ担当は主任が行い、保育指導や書式記載指導、心得などの指導を行っています。実習最終日には反省会を行い、園長・主任・配属のクラス担任が出席し、意見交換を行っています。
--	---

評価領域V 人材育成・援助技術の向上



評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は保育所運営に十分な人材構成であるかをチェックし、運営法人と相談し必要な人材の補充を行っています。10月に行われる職員の次年度の意向調査を基に、園内の年齢バランス、新人育成などを考慮しています。非常勤職員の採用は主として、園長が中心となって行っています。運営法人の人材育成計画に基づき、個々の職員の「職員育成年間研修計画」が策定されています。今年度からは成長支援制度も導入され、よりきめ細かな職務分担を行い、それぞれの立ち位置での人材育成が行われるようになっていきます。また、園内独自の人材育成として、在園児の状況に合わせ、個々の職員の研修計画を策定し保育所の理念、方針をふまえた保育が実施できるよう努めています。園が目指す保育園像を体現させる為、4年前から横浜の「リズム」夜間研修には、年間を通して3名の職員が月1回参加しています。 ・全職員は、「チャレンジ共有シート」を用いて目標設定と自己評価をし、年3回の園長面談で振り返りと目標の見直しをしています。また、毎月末には「にじいろの自己評価(職員用)」を用いて、日頃の自分を振り返り、自らの保育に役立てるようにしています。 ・研修担当は主任ですが、園長と相談しながら、個々の職員のニーズや希望を配慮すると共に園児の状況に合わせて、研修計画を作成しています。研修案内が届いたら、該当する職員に打診しています。次年度に担当するクラスによっては必要とされるスキルのステップアップのため研修を職員に勧めることもあります。 ・毎年、テーマを決めて、計画的に園内研修を実施しています。今年度のテーマは乳児クラスは手作りおもちゃ、幼児クラスはリズムになっています。園内研修には、非常勤職員も参加しています。本人の希望があれば、金沢区主催の研修、外部研修への参加も可能です。今年度はムーブメント研修に参加している職員がいます。また、地域の消防署による心肺蘇生法とAEDの講習は、毎年全職員で受講しています。


	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員を含む全職員にマニュアル「保育ガイド」を配布していません。シフト表は非常勤職員の特質や常勤職員の経験を考慮し、主任が作成し園長が確認しています。また保育内容により非常勤職員を配置するなどバランスに配慮しています。 ・毎月1回、開催されるパート会議には、指導を行っている主任が参加し、情報共有を図るとともに、非常勤職員の意見を吸い上げています。また、クラス担当になっている非常勤職員は乳児会議、幼児会議に参加することもあります。非常勤保育士も正職員と同様、保育の質の向上を図り、経験年数に応じて行事等に意見を提案するなど、役割分担にも積極的に関わる仕組みができています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> <p>(2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。</p> <p>(3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は研修などで得た良い事例を職員会議で発表し、保育の現場に積極的に取り入れています。園長経験者による、手遊び、わらべ歌、絵本の読み方などの指導を受け、日々の保育の中で活かしています。また、運営法人の臨床心理士、南部地域療育センターの担当者からは、障がい児のいる場合の教室運営方法、保育士の対応方法など様々な指導、助言を受けています。また、造形教室、体操教室などの外部の専門講師からも指導方法やアドバイスを受け、保育技術の向上に努めています。 ・年間保育指導計画、月案、週案、発達経過記録、チャレンジ共有シート、行事計画書など運営法人で決められた書式があります。それらは、定型化され、それぞれに自己評価の欄があり、職員は毎日振り返りを行っています。自己評価は、園長や主任が具体的に書き方を指導したりして、その後の改善に繋がっています。職員は子どもの活動の結果だけでなく、子どもの発達や意欲、根気、取り組み姿勢などを大切に保育にあたっており、自己評価もその視点に沿って行われています。 ・各クラスではクラスミーティングにおいて、常に振り返りを行っています。毎月行われる職員の「にじいろの自己評価(職員版)」、週案、月案、年間保育計画の期毎の自己評価の結果から園の課題を明確にし、園内研修のテーマに取り上げたり、業務の改善、保育士間の連携強化に向けて取り組んでいます。これらを基に作成された「にじいろの自己評価(施設版)」は、誰でも見ることができるよう玄関に置かれています。また運営委員会でも報告しています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経験・能力や習熟度に応じた役割や期待水準を、「保育者ナビ」に記載し全職員に配付しています。今年度から、成長支援制度が導入されたため、園長は職員と共に業務の内容、保育の質などの振り返りを行い、今後の課題、期待する業務の明文化を行い、職員一人一人に配布しています。クラス運営はクラス担任に任されています。また、職員の経験や能力に応じ、役割分担を決めリーダー・行事担当・絵本・教材・写真の係を設け、可能な限り権限を委譲すると共に、園運営の意

与え、やりがいや満足度を高めているか。

識向上を図っています。園長、主任は週案会議、カリキュラム会議、職員会議など様々な場面で、職員の意見や要望を聞いています。職員からは業務改善案として、幼児クラスにおいて、月に1回、保護者（家での子どもの様子、興味を持ち始めたもの、お気に入りのテレビなど）と保育者（保育園内での様子、興味を持ち始めたもの）の情報交換を行う「手紙」の案が出され、子どもの様子を両方で知る事ができるようになっています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・全職員に配付している「保育ガイド」及び職務規程に、職員が守るべき法・規範・倫理などが明文化されています。内容については、新人研修や職員会議などで周知しています。園長が運営法人の園長会や新聞記事等で得た他施設での不正・不適切な事案は、職員会議や朝ミーティング、閲覧で職員に周知しています。・事業報告書には環境問題への取組みを明記し、ゴミの分別を子どもと一緒にしています。エコキャップ回収箱を玄関に設置し各家庭に回収の協力をお願いしています。集まったエコキャップは金沢中学校に届けています。自由遊びでは各家庭で集めてもらった包装紙、紙袋などを利用して折り紙制作や廃材制作を行っています。また、横浜市資源循環局による出前環境講座に系列園と共に参加しています。講座では着ぐるみショーや寸劇、紙芝居などから子どもたちが無理なく環境について学ぶことができます。暖房の温度設定・節電・蛇口の水压調整、ペーパータオルは一人1枚使用を心がけるなど、省エネルギーに努めています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。 (2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 (3)主任クラスの職員がスーパーバイザーと</p>	<ul style="list-style-type: none">・保育理念、保育方針、保育目標を玄関や保育室、事務室、休憩室、トイレと掲示し、職員がいつでもどこでも確認できるようにしています。全職員に配付している「保育ガイド」にも掲載しています。保育理念、保育方針、保育目標について、職員会議や園内研修など、折に触れて理念や方針を議題に取り上げ、職員の理解が深まるようにしています。朝のミーティングでは、日々の保育について話し合う中で、園長・主任が理念や方針に沿った保育内容かを確認すると共にアドバイスを行っています。・重要な意思決定について、職員には職員会議で、保護者には懇談会で目的、決定理由、経過などを説明しています。夕食提供など重要な意思決定にあたっては、園長は運営委員会（保護者代表、第三者委員、園長、運営法人スーパーバイザーで構成）懇談会で説明及び意見交換

<p>しての役割を果たしているか。</p>	<p>を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任は毎日、保育の様子を見て回り、職員の業務状況を把握しています。個々の職員の勤務状況や希望等を考慮してシフトを作成し、常にシフトを調整しています。また、個々の職員の能力や経験に合わせ、指導やアドバイスをしています。月案、週案、児童票、発達経過記録などの計画、記録に目を通し、必要な指導やアドバイスを行っています。毎月のクラスだより、ほけんだより、給食だよりなどの文章の組み立て指導に取り組み、職員の質の向上に努めています。 主任は職員の様子を見守り、必要に応じて声をかけて相談にのり、職員が精神的、肉体的に良好な状態で保育に取り組めるよう配慮しています。また、職員と園長のパイプ役になるよう努めています。
<p>VI-3 効率的な運営</p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園長は、横浜市私立保育園園長会、金沢区園長会、運営法人園長会、南部地域療育センター、南部児童相談所、金沢区役所などで行われる会議に出席し、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。重要な情報は主任と話し合っ、リーダー会議にかけ重点改善課題として設定しています。 運営法人において、中長期的な事業方向性を定めた計画が作成されています。また、園独自の中期計画を作成し、事務室、に掲示しています。中期計画は「Ⅰ保育の質の向上」「Ⅱ安全な施設環境の確保」「Ⅲ地域支援」を重点課題に挙げ作成されています。また、中期計画に基づき、年度ごとの事業計画を作成しています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2017年8月3日～8月17日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 57.1%（回収36枚／配付63枚）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…5人、1歳児クラス…7人、2歳児クラス…12人、3歳児クラス…5人、
4歳児クラス…3人、5歳児クラス…3人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

- ・園の保育目標、保育方針を「よく知っている」（11.1%）「まあ知っている」（55.6%）と答えた保護者の割合は合わせて66.7%で、その中で「賛同できる」（62.5%）「まあ賛同できる」（33.3%）と答えた保護者の割合は95.8%で支持率は高くなっています。
- ・設問の中で比較的満足度の割合が高いのは、「保育園での1日の過ごし方」「費用やきまりに関する説明について」「クラス活動や遊びについて」「子どもが戸外遊びを十分にしているか」「園のおもちゃや教材について」「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動について」「遊びを通じて友だち保育士との関わりが十分もっているか」「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては」「給食の献立内容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣の自立に向けた取り組み」「保護者からの相談事への対応」「あなたのお子さんが大切にされているか」「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」「話しやすい雰囲気、態度であるかどうか」の項目において90%以上の満足度を得ています。特に日常保育内容における遊びの項目では全ての項目において100%に近い満足度を得ています。
- ・「アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮」については、満足度が72.2%と比較的低くなっていますが、「その他」「無回答」が合わせて28.1%となっていて、自由記述欄にも「該当していません」「配慮を依頼していないので分からない」などの記述があります。
- ・一方、不満の割合が比較的高いのは、「施設設備」「外部からの不審者侵入を防ぐ対策の」がどちらかと言えば不満、不満を合わせると25%を超える不満度になっています。「お子さんへの体調への気配り」「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には」の項目についても同様に16.7%となっています。
- ・総合的な満足度は、「満足」が52.8%、「どちらかといえば満足」が41.7%、合わせて94.5%と、高い満足度になっています。

◆まとめ

- ・全項目37項目中、満足度が80%以上の項目が32項目あり、満足度の割合は高くなっています。中でも、問4遊びについての項目では、全ての項目が100%に近い満足度となっています。子どもたちの園での生活に保護者が満足していることが伺えます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

にじいろ保育園釜利谷

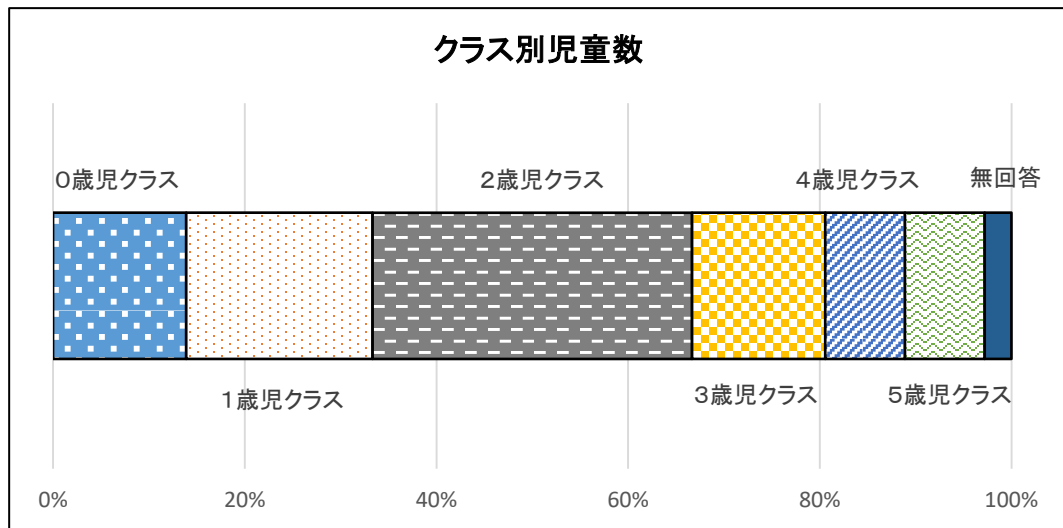
【属性】

クラス別児童数

(人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
36	5	7	12	5	3	3	1

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもで記入

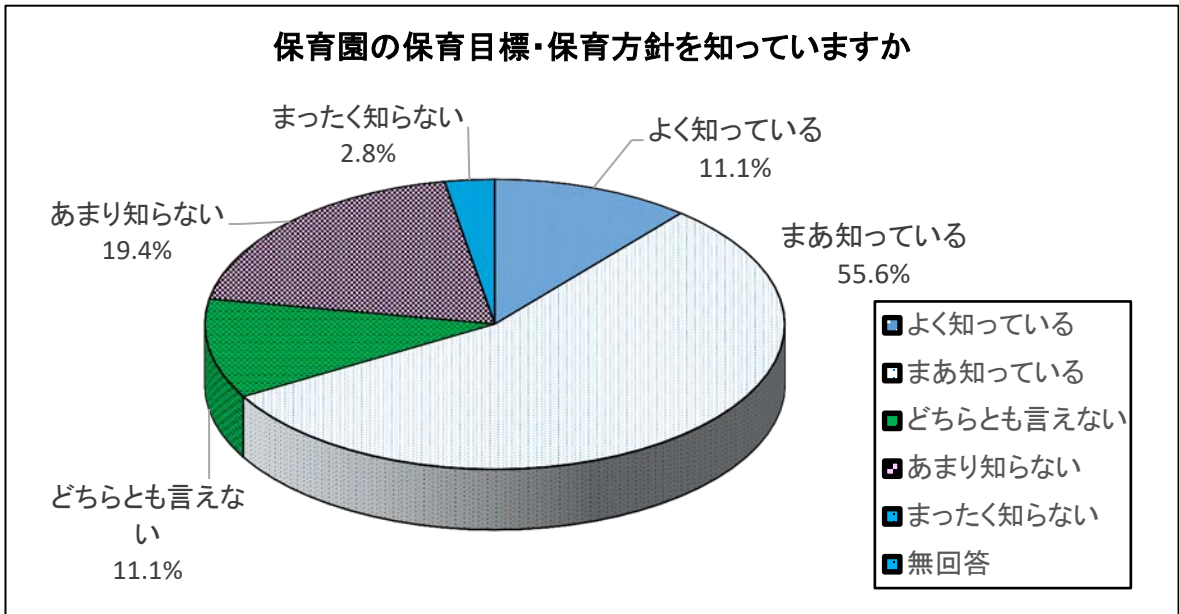


■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	11.1%	55.6%	11.1%	19.4%	2.8%	0.0%	100.0%

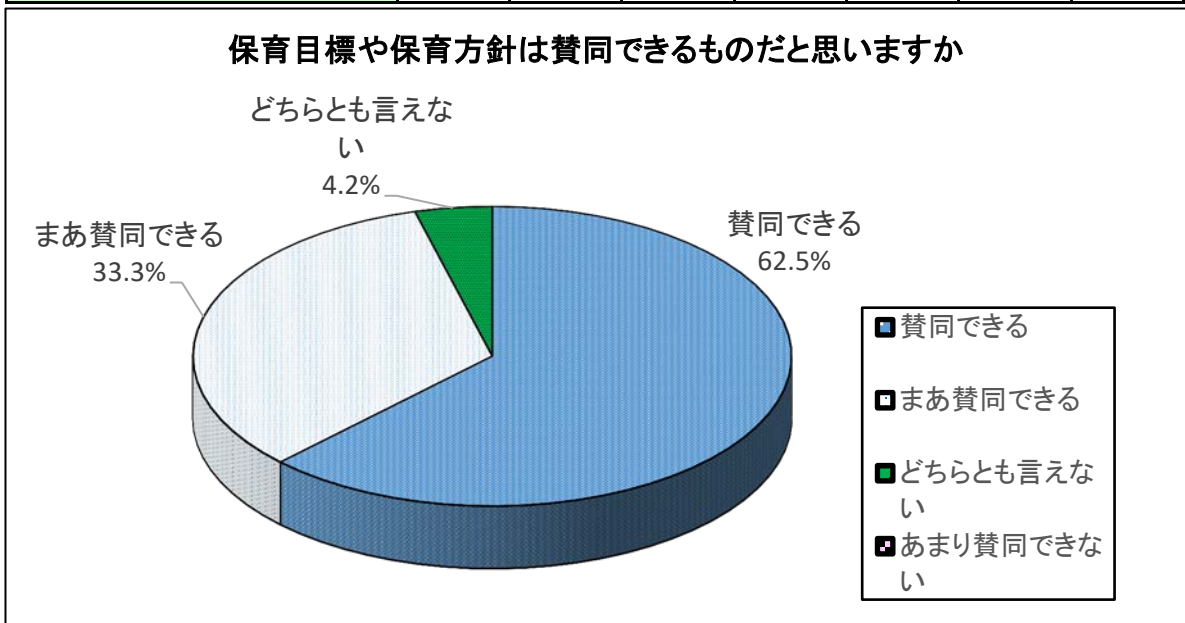
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

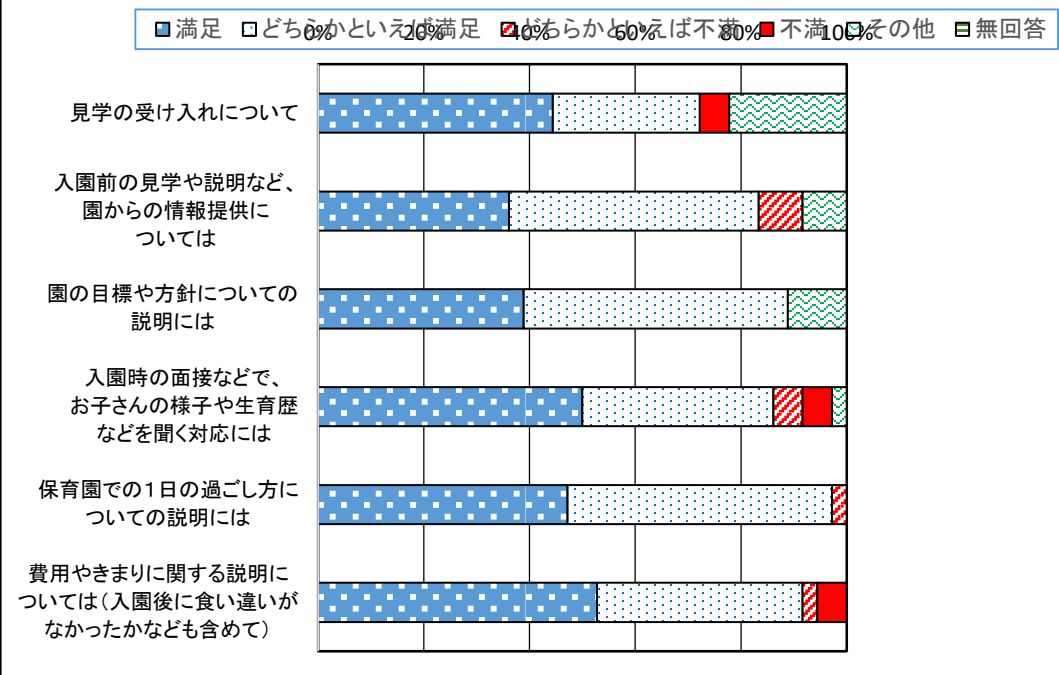


■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	44.4%	27.8%	0.0%	5.6%	22.2%	0.0%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	36.1%	47.2%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
園の目標や方針についての説明には	38.9%	50.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	50.0%	36.1%	5.6%	5.6%	2.8%	0.0%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	47.2%	50.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	52.8%	38.9%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%

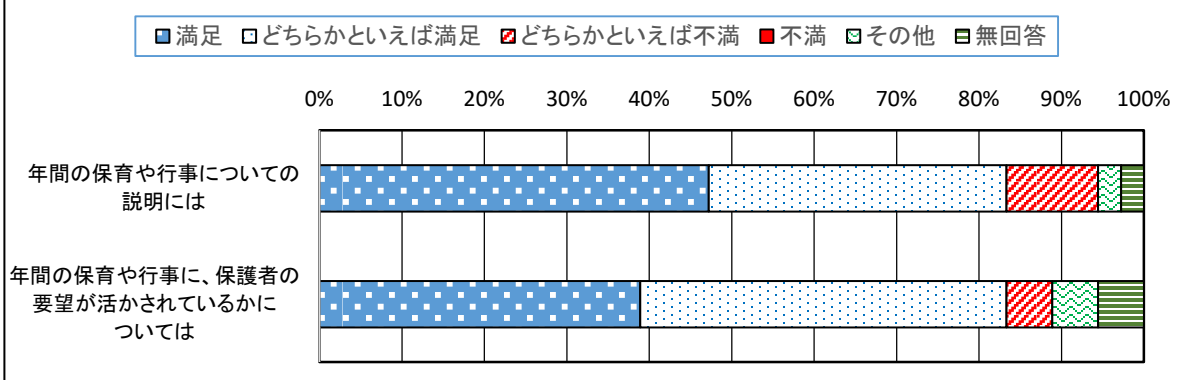
入園時の状況について



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

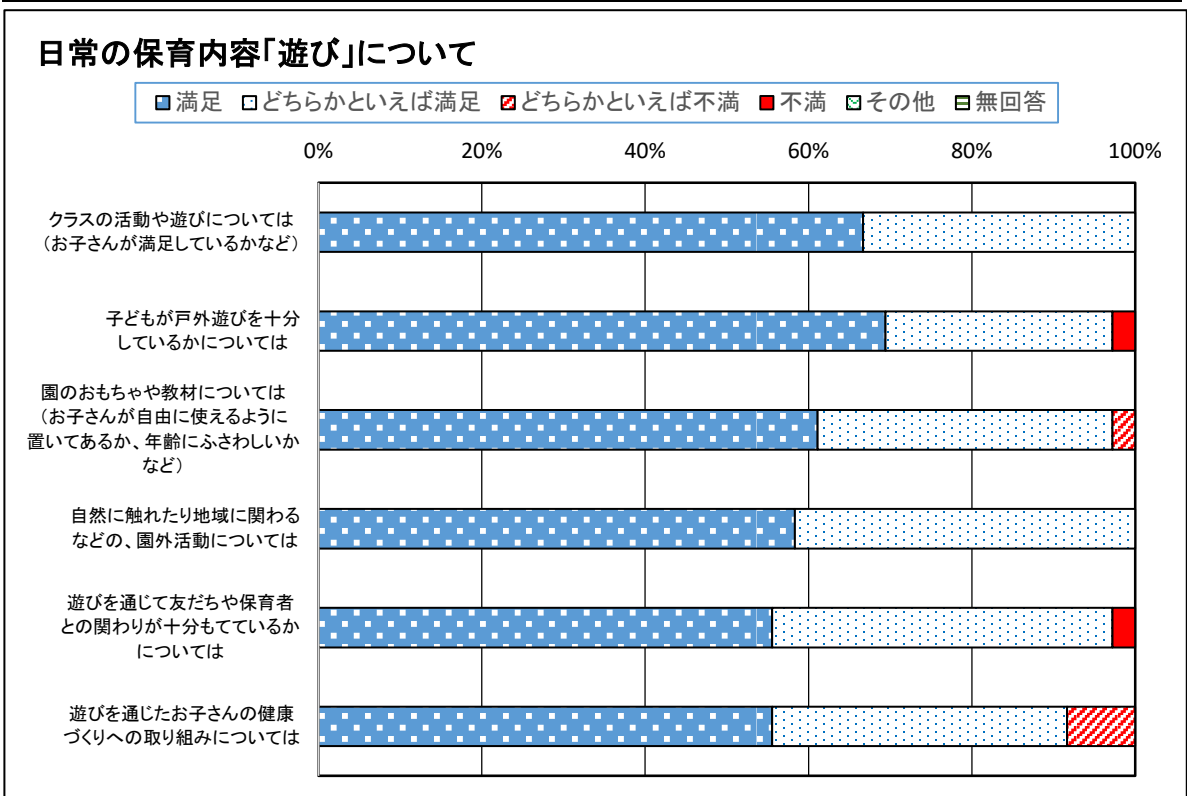
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	47.2%	36.1%	11.1%	0.0%	2.8%	2.8%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	38.9%	44.4%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%	100.0%

年間の計画について



問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

●「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	69.4%	27.8%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	61.1%	36.1%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	55.6%	41.7%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	55.6%	36.1%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

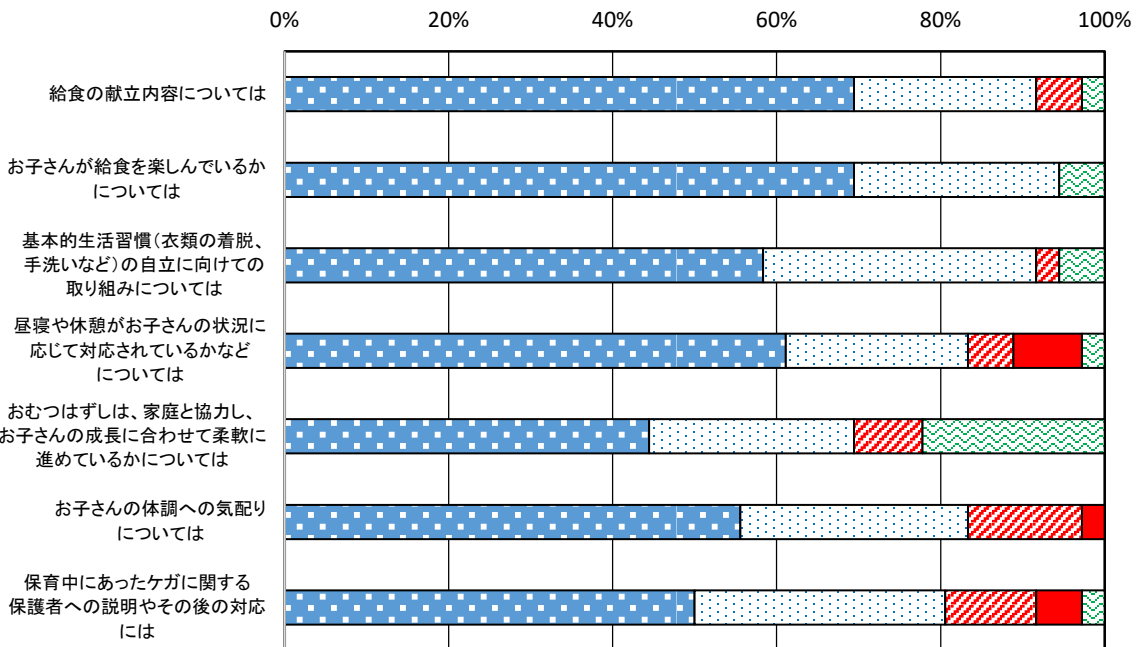


●「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	69.4%	22.2%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	69.4%	25.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	100.0%
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	58.3%	33.3%	2.8%	0.0%	5.6%	0.0%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	61.1%	22.2%	5.6%	8.3%	2.8%	0.0%	100.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	44.4%	25.0%	8.3%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%
お子さんの体調への気配りについては	55.6%	27.8%	13.9%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中であつたケガに関する保護者への説明やその後の対応には	50.0%	30.6%	11.1%	5.6%	2.8%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「生活」について

■ 満足 □ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 □ その他 □ 無回答

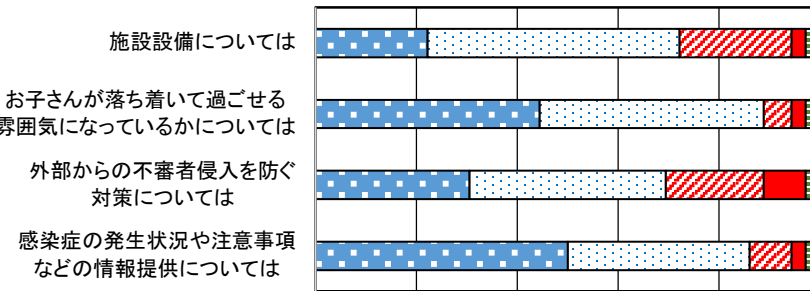


問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	22.2%	50.0%	22.2%	2.8%	0.0%	2.8%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	44.4%	44.4%	5.6%	2.8%	0.0%	2.8%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	30.6%	38.9%	19.4%	8.3%	0.0%	2.8%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	50.0%	36.1%	8.3%	2.8%	0.0%	2.8%	100.0%

快適さや安全対策などについて

■満足 □どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

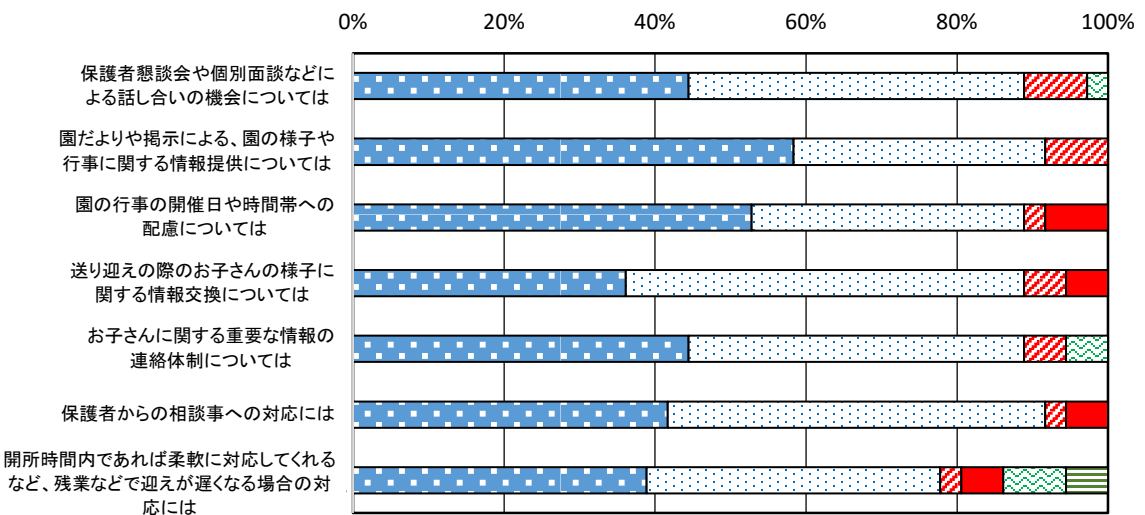


問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	44.4%	44.4%	8.3%	0.0%	2.8%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	52.8%	36.1%	2.8%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	36.1%	52.8%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	44.4%	44.4%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事への対応には	41.7%	50.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	38.9%	38.9%	2.8%	5.6%	8.3%	5.6%	100.0%

園と保護者との連携・交流について

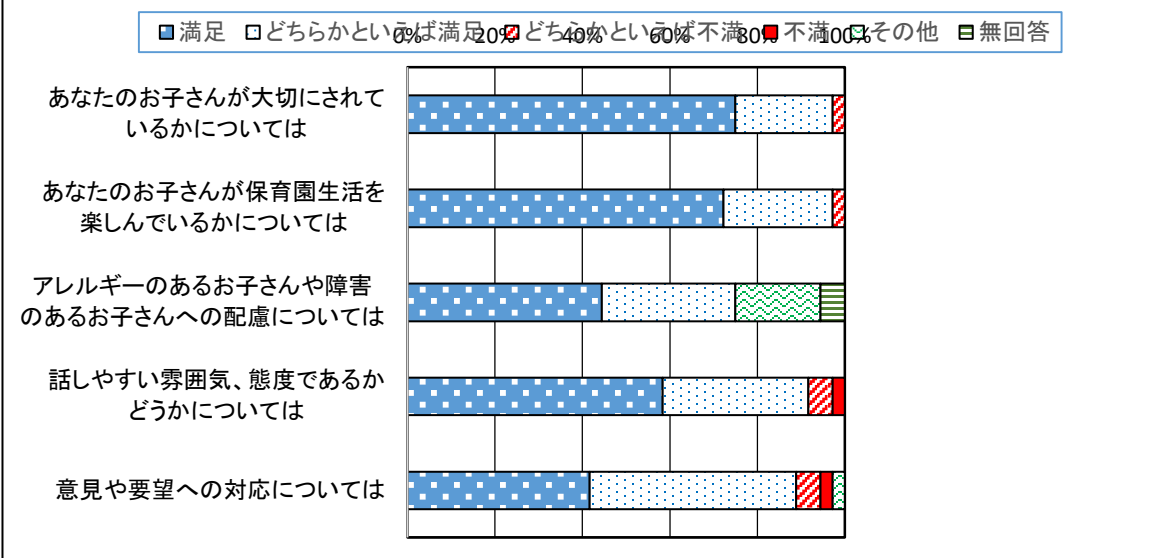
■満足 □どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

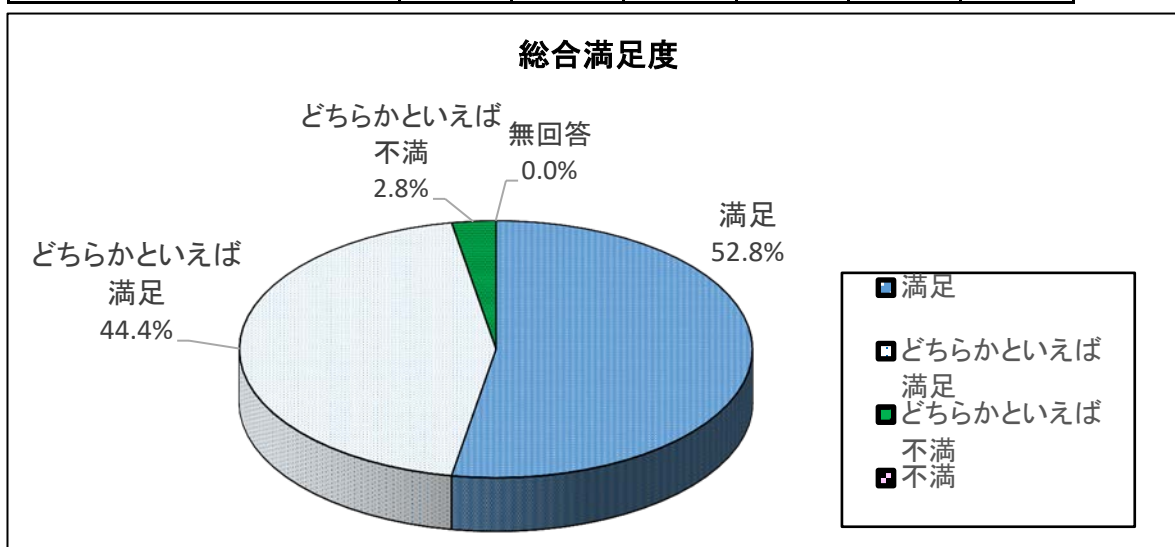
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	75.0%	22.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	72.2%	25.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	44.4%	30.6%	0.0%	0.0%	19.4%	5.6%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	58.3%	33.3%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応については	41.7%	47.2%	5.6%	2.8%	2.8%	0.0%	100.0%

職員の対応について



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	52.8%	44.4%	2.8%	0.0%	0.0%	100.0%



利用者（園児）本人調査 分析

◆ 観察調査 ①10月17日（火）9：00～17：00 ②10月19日（木）9：00～17：00

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

◆0 歳児クラス

<ボール遊びと自由遊び>

カラーボールがサークルで囲ったスペースの中にたくさん入れられ、子どもたちは保育士と一緒にカラーボールを手にしたたり、転がったりしながら遊んでいました。子どもたちは、声をあげながら保育士が投げあげるボールを目で追ったり、保育士が持ったボールに手をかけたりしていました。

自由遊びでは、保育士の周りでおままごとの道具や手押し車を使いながら一人一人自由に遊んでいました。保育士に近くで見守られたり、抱っこしてもらいながら、子どもは自分が興味をもったもので遊び始めたり、保育士と一緒に遊んだりしていました。

<授乳と食事>

授乳は、保育士が子どもの欲しがるタイミングで与えています。おやつや離乳食は子どものペースに合わせて、ゆっくり時間をかけて食べていました。スプーンを使える子どもも、手づかみで食べる子どもも保育士に「おいしいね」「たくさん食べたね」と声をかけてもらっています。

<午睡>

遊びの途中でも眠くなった子どもは、保育士に抱っこしてもらったり、子どもが遊んでいるスペースから少し離れたところで寝ていました。昼食が終わってからは一斉に午睡をしていますが、早く起きてしまった子どもは保育士と静かに遊んでいました。

◆1 歳児クラス

<遊び>

机の上で、はめ込み式のパズルや紐通しで遊ぶグループ、マットで仕切られたコーナーでおままごとや電車などで遊ぶグループに分かれていました。はめ込み式のパズルでは保育士が一つのピースの辺を触りながら「いち、に、さん、し、ご、五角形の〇〇だよ」というと、子どもも別のピースをとって「いち、に、さん、し、ご、五角形」と真似ていました。おままごとでは、子どもたちが作った料理や買い物してきた食材などを、保育士がぬいぐるみやパペットを使い「ありがとう、おいしいね、もぐもぐ」と答えてくれるので、子どもたちも、手提げ袋や食材などを片手に「はいどうぞ」「はいどうぞ」とぬいぐるみの元へ運んでいました。

<トイレトレーニングと午睡>

トイレトレーニングは活動の合間にグループに分かれて行っていました。保育士に促されてトイレまで行き手作りの腰掛で順番を待っています。その間も、子どもは保育士から手遊びをしてもらったり、絵本を読んでもらっていました。

午睡は、すぐには寝付けない子どもも多く保育士に体をトントンしてもらったり、頭をなでてもらっていました。

◆2 歳児クラス

<リズムと自由遊び>

リズムは、2グループに分かれて保育士の弾く曲や歌に合わせて体を動かしていました。リズムに合わせて体を動かしている子どもは、保育士を真似てニコニコしていました。

自由遊びでは、コーナー設定の中で、おままごと、塗り絵、レールを繋いで電車遊びなど、一人一人が遊びを選んでいました。おままごとでは、色水のペットボトルを葉に見立てたり、おもちゃを注射器に見立てたりする中で、保育士と一緒に遊び反応してくれることで、子どもたちはどんどん盛り上がっていました。また、一人で絵本を見ている子やおままごとをする子もいました。

<食事>

子どもたちは保育士が配膳してくれるのを待って、「いただきます」をして保育士も一緒に食べています。子どもたちは、友だちや保育士に話しかけたり、見回りに来ている栄養士とも楽しそうにおしゃべりしながら食べています。箸を使用している子どももいます。

<トイレトレーニングと午睡>

トイレトレーニングは、活動の合間にクラスを半分に分けて交代で行くほか、一人一人の子どものリズムに合わせて、活動の途中でも保育士がついて行っていました。午睡は一斉に行っています。

◆3・4・5歳児クラス

<朝の自由時間>

3、4、5歳がコーナー遊びをしています。

テーブル、マットごとに違う遊びが用意されグループで遊んでいました。子ども同士の会話が活発に行われており、保育士は笑顔で見守っています。時折、3歳くらいの子どものトラブルが発生したときのみ、保育士が仲裁に入っていました。

テーブルではパズル、ジェンガなどをやっていたり、ブロックで機関銃を作り部屋を動き回って戦闘ごっこをしている子どももいました。一番大きなおままごとグループでは、キッチンでオードブルづくり、ボールを逆さまにした上に大き目の皿をのせ、素敵なオードブル皿となっていました。その上に野菜や魚、肉、パンなどをのせたり、手作りジュース、弁当箱に色々つめたり、ドレスを着たりしている子どももいます。棚の側のシートに座って、二人の世界に入り大迷路の本を読んでいる子ども、お絵かきしている子どももいて、自由に遊んでいます。

ブロックで剣を作って遊んでいた3歳児らしき子どもたちが剣を保育士に見せに行きました。「お～上手」などの褒め言葉をかけてもらい嬉しそうに、剣での戦い方を保育士に見せていました。だんだん、剣を見せるより、抱っこしてもらった方が良くなったのか、男の子二人が保育士に抱っこおんぶをしてもらい、満足げに笑っていました。降ろされた後もじゃれ合っていました。そのうち、ブロックで作ったマイクを持って歌い始めた子どもたちは、保育士に歌を披露しにいき、保育士に大仰に褒めてもらい、ますます得意げに歌います。

床に座っている女の子に気がついた保育士が、ジェンガをしている子どもたちの側に椅子を持って行き、その子を座らせていました。しばらくすると、女の子は皆から離れてしまい、近くをうろうろしていました。保育士は子どもの様子を無理強いをしないで見守っていました。

<朝の会>

保育士がコーナーごとに「そろそろ片付けをしま～す」と声掛けすると、子どもたちは片付け始めました。片付け終わってからのトイレ、手洗いは習慣になっている様子です。皆のトイレが終わるまでの間、保育士がピアノを弾き、子どもたちは歌を歌って待っています。会の始まりでは、お当番の「水星」グループが今日の日にかや曜日等を皆に伝えています。グループには今年度のテーマである宇宙にちなんだ星の名前が、各グループについています。保育士が「リズムが始まる前にたいようさん、雑巾がけをお願いします。」と言うと、音楽に合わせて、5歳児が雑巾がけを始めました。子どもたちは、みるみるうちに床を拭きあげていきます。雑巾がけの作業は5歳児だけが出来る作業であこがれの的になっているようです。

<リズム遊び>

観察当日は、子どもたちの大好きなリズム遊びが行われました。子どもたちは「おはよう、おはよう」の歌に合わせて、手をつなぎスキップをして楽しそうに回っています。チョウチョのフィニッシュは、手をお腹の前で交差させ、足をずらして素敵なポーズを決めています。子どもたちは隣の子の様子を見たり、保育士からのアドバイスを受けたりして指先まで気をつけながらやっていました。リズムの順番はジャンケンで決め、自分のやりたいリズムをクラスごとにリクエストで決めています。子どもたちはピアノに合わせて、足先から手の指までしっかり伸ばしながら体を動かしています。ピアノのリズムが速くなると、それに合わせて子どもたちの動きもリズムカルに速くなっていきます。曲がスローになると、子どもたちの動きもゆっくりと大きい動きになり体全体で表現しようとしていました。年上の子どもたちを見ていた3歳児の番になると、みんなから「頑張っているうみさんに拍手」の声をもらい得意げな顔になります。「おおスザンナ」では、5歳児がとても上手にギャロップをしながら手拍子と「ヘイ」という掛け声をぴったりと決めています。4歳児もゴキブリ・クモ・ギャロップを頑張って、3歳児はお席で真似っ子しながら、お兄さん、お姉さんの「ヘイ」の掛け声の所では一緒に「ヘイ」と楽しんでいました。4・5歳児の子どもたちは、3歳児の憧れのまなざしを受け、満面の笑顔で踊り続けています。

年齢が上がるごとに手や足の動きが大きくなり、ダイナミックになったり、動きが細やかになっています。子どもたちは楽しみながら、気がつかない間にリズム感、体の柔軟性、発達、自信を得ているようです。

◆まとめ

幼児クラスは、いろいろな場面で5歳児から3歳児に至るまで流れがスムーズです。縦割り（異年齢）保育の良い部分、憧れ、真似るなどで、5歳児が良いお手本になっているようです。毎日合同で生活していること、3歳児5歳児に兄弟児が多く、園内が家庭的な雰囲気にあふれている事などから、子ども同士で年上の子どもが、年下の子供の面倒をみるという姿が随所で見受けられます。子どもは「仲間に入れて」、「ダメ」、「一緒に見よう」、「いいよ」、「広いところ行こうよ」など、「いや」と「いいよ」をしっかりと使い、子ども同士のコミュニケーションを程よく取り、「やめて」をしっかりと伝えることができるようになっていきます。3クラスが良いようにシンクロしているようで、子ども同士の思いやりも随所に感じる事ができました。それでも年齢からくる差は大きく、できる事、できない事がしっかりあるようです。その部分が3歳児にとっては憧れであり、5歳児にとってはしっかりしなくてはという気概に通じているのかと思われます。子ども同士の会話が活発に行われており、小さなトラブルも多く見かけられましたが、自分たちで解決しようとする力が育っているようでした。

乳児クラスは、月齢や発達に合わせ、保育士に見守られながら自由に遊んでいる様子があります。乳児クラスであっても、月齢によっては、友だちとの関わりが持てるようになり2歳児では子ども同士が会話を楽しんでいます。

事業者コメント

開園以来9年間「みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛」の保育方針のもと、保護者の皆様やお子さま一人ひとりにとって、「陽だまりのように温かい保育園」であるように、職員一同常に向上心を持って研鑽を重ね、保育内容の充実に取り組んで参りました。

当園にとっては2度目の第三者評価を受審いたしました。

全職員で、横浜市福祉サービス第三者評価の手引きに沿って保育の見直しを行いました。話し合いは7カ月に及びました。その中で、より工夫していく点、積極的に取り組むべき点、継続していきたい点等、会議や勉強会を重ねる中で丁寧に保育を振り返ることにより、自分自身を見直し、園全体のチームワークという点でも充実し、今まで以上に職場がひとつになったという実感がどの職員も持てたことがよかったです。

保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートへのご協力、また実地訪問調査へのご理解をいただきありがとうございます。皆様からいただいたご意見やご期待に応えていくことをお約束し、今後も、利用者の皆様に満足していただけるようによりよい保育を目指していきたいと思えます。

最後に、「市民セクターよこはま」の調査委員の皆様には、きめ細かやかに見て、評価していただきましたことを心より感謝いたします。

*子どもたちはお互いに思いやりを持って、楽しく園生活を送っています。

*保育士間の連携を密にして子ども中心の保育の実践を目指しています。と高い評価をしていただけたことをうれしく思います。ありがとうございました。

にじいろ保育園釜利谷園の「子ども」「保護者」「職員」一人ひとりが「共に輝いていける保育園」であるように、職員一同努力をしていきたいと思えます。

にじいろ保育園釜利谷
園長 本橋 ふみ子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

●市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

●横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

●かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-49 N G S 横濱馬車道 802 号室

TEL : 045-222-6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>
